

●**大神山神社神門**（逆門・後向き門）
よく見ると、扉が開かないようにするための門（かんぬき）が、内側ではなく外側についている“後向き門”。もともと大山寺本坊西楽院の表門としてありましたが、1875年、寺から神社にそのままの向きで移転されたものです。

●**大山寺宝物館 霊宝閣**
大山寺の貴重な宝物が収蔵され、白鳳期の観世音菩薩像鉄製厨子や銅造十一面観音立像、鎌倉時代に造られた梵鐘などの仏教美術を見ることができます。
公開／9:00～17:00
（4～11月に開館）
料金／大人300円
問合せ先／0859-52-2072
（霊宝閣）



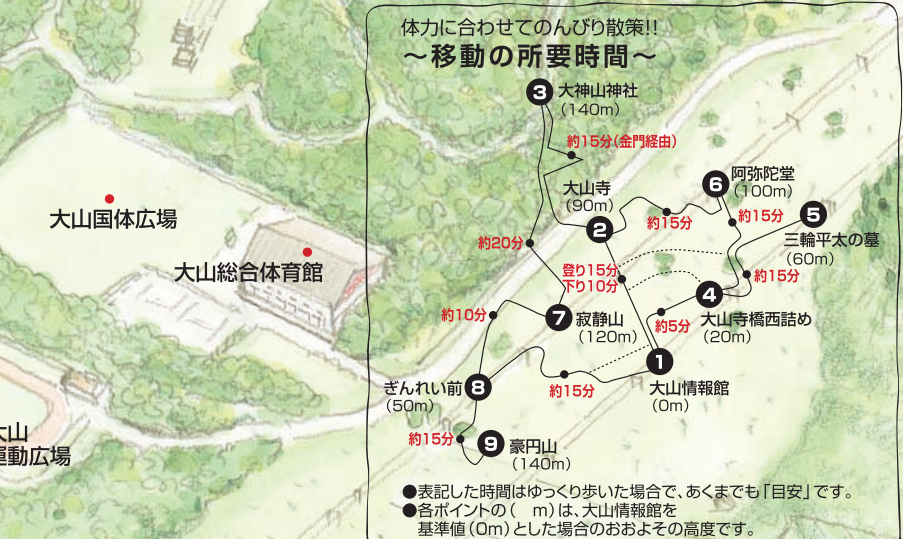
たいまつ行列（6月第1土曜日）

●**大山スキー場**
西日本随一のスケールを誇り、冬は多くのスキーヤーやボーダーで賑わいます。
広い草原が開放的で、上に行くほど眺望が素晴らしくなります。時間があればぜひ散策してみてください!!

■**豪円僧正と米子城にまつわる伝説**
徳川家康より三千石の寺領を約束されていた大山寺領に、米子城主が「検地」を行ったことに怒った豪円僧正が、「自分を葬るなら米子城を臨む場所に。そうすれば必ずや城の没落を見せよう」と遺言し、埋葬の3年後に米子城主中村一忠が20歳の若さで頓死し、米子城主中村家が断絶となった、という伝説が残されています。

●**豪円山キャンプ場**
（7・8月のみ）
高校生以下を対象とした教育キャンプ場。貸テント、薪の販売、温水シャワー（管理棟内）、コインランドリーも完備しています。
0859-52-2165

クロスカントリーコース



●**末社下山神社**
元徳2年（1330年）に建てられた「下山善神」が起源。現在の社殿は、石州津和野の領主亀井隠岐守矩貴公が文化2年（1805）年に再建したもの。八棟権現造の複雑な屋根構造を持ち、とても華麗で美しい造りを誇っています。

●**大山参道ギャラリー**（無料お休み処）
大山寺の御輿や和牛の絵画が常設展示され、誰でも気軽に立ち寄れ、ほっと休憩しながら鑑賞することができます。
営業時間／9:30～16:30 入場無料
休み／水曜日・冬期（12月から3月）閉鎖
0859-52-3021



御幸「御輿行幸」(5月下旬)

●**大神山神社奥宮**
社殿は全国最大級の壮大な権現造りで国の重要文化財。幣殿にある白檀の漆塗りは日本一の規模を誇って美しく、拝殿の格天井の彩色画も見事。ほか西日本最大級の神輿もあります。元々は僧が修験のために大山に登り、その道場として簡単な選拝所を設けるようになったのが始まり。大神山神社本社は米子I.C.の傍、米子市尾高にあります。

●**日本一長い 石畳の参道**
大神山神社へと続く約700mにわたって自然石を敷きつめた、日本一長い石畳の参道。杉木立の両側には中門院派の僧坊跡が埋もれており、江戸中期の「吉持地蔵」や博労座より移築された銅鳥居など、往時を偲ぶながらの散策が楽しめます。



石畳の参道

●**大山情報館**
大山寺の総合情報提供施設で、1階はバスの待合所とご利用自由の更衣室、県道に面する2階は観光案内所と情報提供機能を持った休憩室となっており、授乳室も完備しています。
開館時間／8:00～18:30（年中無休）入館無料
8:30～17:15（大山町観光案内所）
0859-52-2502（大山町観光案内所）

●**豪円山 892m**
山頂より大山北壁、日本海、弓ヶ浜、中海など360度の大パノラマが楽しめます。元々は「呼瀧山」と呼ばれ、かつて北側斜面に滝があつてその瀑音が山野にこだましたことに由来。「豪円山」の名となったのは江戸時代となってからで、大山寺中興の祖である豪円僧正の名に因み、山頂には豪円地蔵がまつられています。

大神山神社奥宮
下山神社
本坊西楽院跡
銅の鳥居
賽の河原
金門
釈迦堂跡
氷室（風穴）
上渡り
利生水
利寿権現跡
阿弥陀堂
洞明院
円流院
連浄院跡
金剛院（万葉院）
下山キャンプ場

石畳の参道
僧兵の力石
大山寺本堂
宝牛
和合の岩
無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

佐々木高綱等身地蔵
天狗茶屋
信濃坊源盛の碑
山楽荘（観証院）
上杉旅館
大山参道ギャラリー
上豆腐屋跡
弘化地蔵
上原旅館
岩田屋
山田屋
やまびこ荘別館華山
チロル
白樺
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

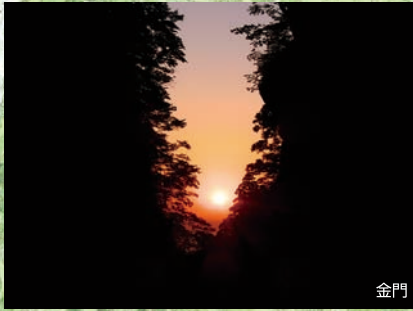
無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

無明の橋
明神鳥居（国指定の重要文化財）
お里の松跡
寂静山
アルペン山荘
大山寿荘
朝霧山荘
山小屋
ホテル一番館
常盛館
大山ユートピア
やまびこ荘
大山レンタルサービス
ホテル大山
しろがね
菅田旅館別館
大山観光物産館
普明院（清光庵）
宿坊通り
雪花荘
川床屋
緑荘
かなお
アルペン通り
大山自治会館
県立大山駐車場（①～⑤）
大山情報館（観光案内所）
博労座

●**大山自然歴史館**
大山についての予備知識ゲットに欠かせないポイント。館内では写真パネルや映像、標本などを織り交ぜ、大山形成の過程、山岳信仰の歴史、ブナや野鳥など息する動植物など、大山に関わる様々な分野を楽しく、わかりやすく紹介しています。
開館時間／9:00～17:00
（夏季は18:30まで）●入館無料
0859-52-2327

●**博労座**（ばくろうざ）
「博労」とは牛馬の売買や仲介を仕事とする人のこと。約300年前、大山の祭日を期して開かれた市を起源とし、「日本三牛馬市」のひとつとしてあった牛馬市の会場で、今はバスの停留所、一般駐車場、イベント会場となっています。



●**大山寺阿弥陀堂**
室町末期の天文21年（1552年）に再建されたといわれる建造物。本尊は1131年に大仏師良円によって造営されたと言われる丈六（2.79メートル）の木造阿弥陀如来で、両脇には観音と勢至の両菩薩も安置され、建物、仏像とも国の重要文化財。
堂内拝観は要予約
拝観料／（30人以下1組）3,000円
座禅体験も可能（要相談）
0859-52-2158（大山寺）

●**南光河原**（なんこうがわら）
大山寺隆盛の頃、南光院谷派僧坊がありましたが、金門を切り開いて僧坊は両岸に移転し、河原となったとの言い伝えも残されています。（河原に下りるのはどこから??）

●**三輪平太の墓**
約二百年前、大山寺本殿再建の際、地元の大工の恨みを受けて、その完成を見ずにこの地で自害したと伝えられる京都の宮大工の棟梁、三輪平太が祀られています。

●**石の大鳥居**
大山寺にある三つの鳥居のうちの一つで、岡山、日野方面からの大山道、参道入口にあり、高さ7m、周囲約2mという大きなもの。たたら製鉄で財をなした日野の近藤家、梅林家によって嘉永7年（1854年）に建立。



石の大鳥居

●**弘化の大地蔵**（こうげのだいじぞう）
大山寺に現存する三体の大きな「立像石仏地蔵」の一つ。高さ2.4mで南無地蔵大菩薩と彫り込まれており、作は江戸末期と伝えられています。光背は「舟形光」で、重ねた手の上に宝珠を載せ「どんな願いでもかなえましょう」と参拝者を見ながら立っている。

●**連浄院跡**（れんじょういんあと）
大山寺の支院の一つですが、長年の風雪で荒廃が進み倒壊し、いまは跡地が残るだけ。かつて文豪・志賀直哉が滞在し、長編小説「暗夜行路」の終章はこの時の体験をもとに書かれたと言われています。

●**下山キャンプ場**（7・8月のみ）
約10haの広さを誇り約600のフリーサイトがあります。車椅子対応のトイレやスロープなどバリアフリーにも配慮。登山も兼ねてキャンプを楽しみ、周辺での自然観察も満喫できます。
0859-52-2165
（財）自然公園財団



大山北壁

大山ぶらりまっふ
Fugihara
©chiikimirai